



杳掛小学校だより

4月号

未来を拓く ～元気・やさしさ・かがやく瞳～

NO. 577

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

御入学、御進級、心からお祝い申し上げます

校長 師岡 孝明

妙正寺川沿いの枝垂桜が、ここ数日の暖かさで、満開の様相を見せています。春の暖かい日差しが子供たちをやさしく包んでいます。今日から新学期です。御入学・御進級おめでとうございます。真新しいランドセルを背にした新1年生はもちろんのこと、進級した子供たち一人一人は、新年度への期待をふくらませて元気に登校いたしました。

今年度のスタートは、新一年生87名を迎え、全校児童571名です。子供たち一人一人が新たな出会いと進級の喜びをかみしめながら、力強い一歩を踏み出してくれればと思います。

子供は、「家庭で躾け、学校で育て、地域で成長する。」と言われます。家庭・学校・地域の三者が共通理解を図り、一体となって子供を育てていくことが大切です。皆様の御理解、御協力をよろしくお願いします。

学校では、「あいさつウイーク」を設け、「おはようございます。」「ありがとうございます。」「しつれいします。」「すみません。」など、いろいろな場面で、いつでもできるように指導しています。これらの頭の言葉を集めると、「オアシス」になります。今年度はこの「オアシス」を子供たち一人一人に意識させたいと考えています。

平成29年度は、思いやりがあり、心豊かで、たくましい、未来を拓く人の育成を目指して「～未来を拓く～『元気』『やさしさ』『かがやく瞳』」を教育目標としました。その中でも『かがやく瞳』を重点とし、児童自らが自己を高め努力を続け、さらに夢をもって自らの未来を切り拓く子を育てていきます。教育目標を達成するための具体的な手立ては「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3点です。

第1点目は「確かな学力」を身に付けさせることです。

そのために「学び残しをなくす」指導を強化します。具体的には、算数科においては1年生から少人数習熟度別指導を実施します。また、次期学習指導要領がめざす、「深い学び」やペア学習・問

題解決型の学習をすべての教科で積極的に実施いたします。具体的には、子供自らが課題を設定し、その課題解決を図っていく、という授業展開です。ですから、教師が黒板の前に立って説明しているだけの教師主導型の授業からの完全な脱却です。そして、授業内における学習支援を徹底していきます。

第2点目としては「豊かな心の育成」です。

そのために、家庭・地域と連携して「基本的行動様式を身に付ける指導」を徹底していきます。具体的な指導事項としては、「挨拶」「言葉づかい」「廊下・道路歩行」「持ちもの」「きまり順守」を子供たち一人一人に徹底させます。そのためにも、「杳掛小のきまりと確認事項」に則った指導を全学年及びすべての教員が実施していきます。子供たちにとっての指針と共に、教員一人一人にとっての確認事項であることを示すものです。

第3点目は「健やかな体」をつくる事です。

そのために、「運動に親しむ児童の育成」を目指します。このことは2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けての取組でもあります。

具体的な内容は、昨年度同様金曜日に「トライやるデー」を設定するとともに、歩数計の活用を行います。歩数計に関しては、3年生以上の活用利用とするとともに、その効果をしっかり数値的に明らかにしていきます。また、「世界ともだちプロジェクト」として今年度杳掛小では、「ルーマニア」を扱いますので、ルーマニアのスポーツや食文化等を紹介していきたいと考えています。これらの活動を通して、望ましい食習慣や運動習慣、さらには、生活習慣の確立を図ることを通して、自分自身の体を大切にする児童の育成を図っていきます。

最後になりますが、地域とともに歩む学校を念頭に日々の教育活動に力を注いでまいります。保護者の皆様、地域の皆様の御協力と御理解、御支援をお願いいたします。